

▼今月の『ポピー』の国語で学習するおもな内容と大切なことがらです。

□の数字は、教科書のページ数です。

2年 ミリーのすてきなぼうし □ 97~109

●散歩の途中で特別なぼうしを買った女の子のお話です。

●場面の様子や登場人物の行動を、想像しながら読み取ります。

- 大きさも形も色も、想像すれば自由自在に変わる、素晴らしいぼうし。
- クジャクのぼうし↓ケーキのぼうし↓花でいっぱいぼうし↓噴水のぼうし
- 気付けば周りの人がみんな、それぞれ違うぼうしを持っていた。

想像を広げれば、だれでも自分だけのぼうしが持てるんだね。



1年 おむすび ころりん □ 86~93

●包みから転がり出たおむすびを追いかけるおじいさんのお話です。

●リズムカルな文章です。場面を想像しながら、音読のしかたを工夫して、楽しく読みます。



- おむすび ひとつ ころがって、
- ころりん ころりん かけだした。
- ……
- はたけの すみの あなの なか、
- すつとんとんと とびこんだ。
- ……
- おむすび ころりん すつとんとん。
- ころりん すつとんとん。

4年 新聞を作ろう □ 88~97

●伝えたいことがはっきり分かるように工夫して新聞を作ります。

●新聞の特徴を確かめて、どんな新聞を作るかを話し合おう。

- 取材をする。
- わりつけについて話し合おう。
- 記事の大きさと入れる場所を決めることを、「わりつけ」というよ。新聞名も決めよう。
- 記事を書き、新聞に仕上げる。
- 感想を伝え合おう。

見出しや写真・図などの入れ方を考えて、ていねいに仕上げよう。



3年 鳥になったきょうりゅうの話 □ 105~111

●大昔の恐竜が、実は鳥として生き残っていたという事実を述べた説明文です。

●恐竜が鳥として生き残った経緯を読み取ります。

- 恐竜にいろいろな種類がいた。
- 草食や肉食のもの。
- うろこや羽毛に覆われたもの。
- 大きいものや犬や猫ぐらいのもの。
- 長い年月を経て、木の上で暮らし、空を飛ぶものがあらわれた。
- 空を飛べる恐竜の子孫だけが生き残り、さらに小さく軽い体になった。



6年 森へ □ 83~91

●森の自然のさまざまな姿が、筆者の想像を交えて描かれています。

●筆者の工夫した表現に注目しながら読みます。

工夫した表現……森や樹林を人間のよう表現している。

- 森の木々が、じつとぼくを見つめているような気がしました。
- 森は、少しずつぼくにやさしくなってくるようでした。

人間のように表現することによって、生きている森のイメージを豊かに伝える効果があるんだ。



5年 カレーライス □ 86~93

●父と男の子との日常のささいな衝突を通して、思春期特有の家族や大人たちとの距離と、そこに感じる自分でも持て余してしまいう気持ちのゆれを描いた物語です。

●物語を大きく三つに分けて、「ぼく」とお父さんの気持ちや様子を読み取ります。

- 「ぼく」が意地をはるきっかけになった場面。
- 「お父さんウィーク」初日から、三日目の夕方前まで。
- 二人でカレーライスを作る場面。

カレー、「甘口」から「中辛」に変わっていったんだね。

